

100 m<sup>2</sup>運動地公開を目的とした社会実験の実施について

## 【概要】

100 m<sup>2</sup>運動地の公開と普及を目的に複数の歩道（トレイル）を試験的に設置する。平成26年度は、周年事業の一環として、運動地の公開に加え、知床五湖早期閉園後の受け皿となる社会実験と位置付ける。

## 【実施主体】

主催：斜里町、公益財団法人知床財団

後援（予定）：釧路自然環境事務所、北海道森林管理局

## 【実施期間】

2014年10月14日～10月31日（18日間）

## 【目標】

- 散策者の多数が、100 m<sup>2</sup>運動の歴史と趣旨を知り、よき理解者となること。
- 本年度は社会実験として、ホロベツ地区が五湖閉園後の公園利用の中心地として機能すること。
- 適切なモニタリングにより実験結果が検証され、100 m<sup>2</sup>運動公開のあり方、国立公園計画（歩道）への位置付け等、今後の検討に資すること。

## 【実施内容】

## 1. 遊歩道の設置と運用システムの構築

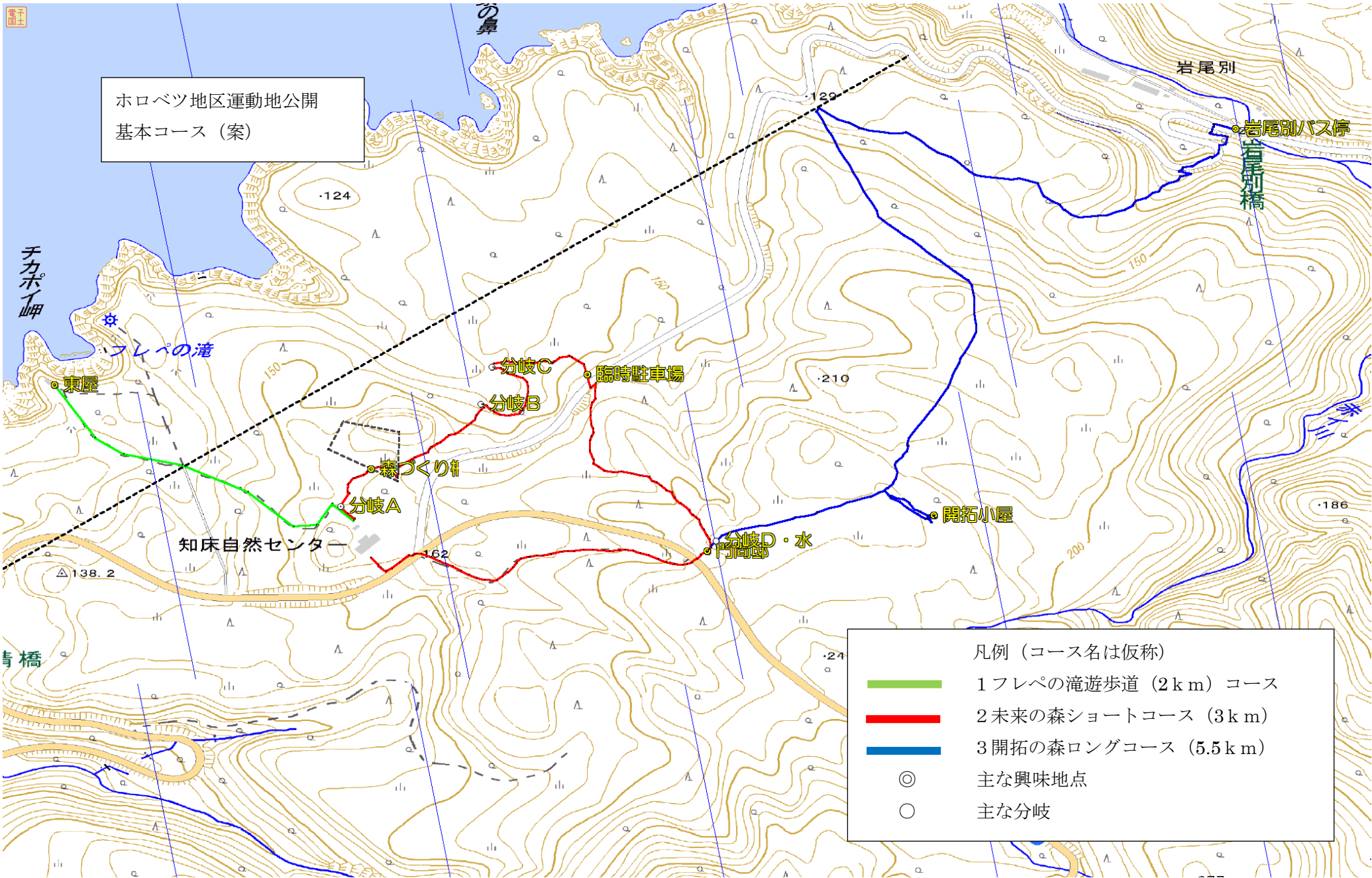
既存の遊歩道である「フレペの滝遊歩道」を含め、それぞれ特徴の異なる3コースを設置する（下表）。新規コースの設置にあたっては、既存の作業道等を最大限活用し、大規模な現状変更は行わない。

遊歩道の利用は原則として徒歩による自由利用とするが、新規コースの利用については、自然センターで実施されるレクチャーによる情報の取得を推奨する。また、コースの一部においてバス利用によるアクセスを検討する。実施後は、適切なモニタリングにより結果を検証する。

|       | 1. フレペの滝遊歩道                                    | 2. 未来の森<br>ショートコース  | 3. 開拓の森<br>ロングコース                                      |
|-------|--|---|--|
| 距離/時間 | 2km（往復）/1時間                                    | 3km（1周）/1.5時間   | 5.5km/3時間  |
| 管理水準  | 幅員のある遊歩道。<br>明瞭で快適。                            | 明瞭で幅員のない踏み分け道。<br>迷わない。   | 幅員のある未舗装道路。<br>部分的に不明瞭。要読図。                            |
| 興味地点  | コース終端には断崖を間近から海を見下ろすことのできるチカポイ展望台がある。断崖と海鳥が魅力。 | 斜里町の進める100 m <sup>2</sup> 運動地の今と未来を紹介。また、途中保存されている旧開拓民家等を見学可能。湧水が汲める。 | 開拓遺構が道沿いに残り、開拓の歴史を体感できる。途中に森林再生作業の現場拠点の一つとなっている開拓小屋あり。 |

## 2. 事前レクチャーと情報提供

知床自然センターで散策前の利用者に対する事前レクチャーを実施する。レクチャーは15分程度とし、1時間に2回程度実施する。レクチャーは無料とし、映像等を活用して100 m<sup>2</sup>運動の紹介、コース説明、ヒグマ対処法と最新情報などの内容とする。



ホロボツ地区運動地公開  
基本コース（案）

| 凡例（コース名は仮称）                          |                      |
|--------------------------------------|----------------------|
| <span style="color: green;">—</span> | 1 フレペの滝遊歩道（2 km）コース  |
| <span style="color: red;">—</span>   | 2 未来の森ショートコース（3 km）  |
| <span style="color: blue;">—</span>  | 3 開拓の森ロングコース（5.5 km） |
| ◎                                    | 主な興味地点               |
| ○                                    | 主な分岐                 |